



エコアクション21  
認証・登録番号 0000716

**marol marine**  
NEXT GENERATION in CONTROLS

# 2010年度

# 環境活動レポート

対象期間： 2010年5月21日～2011年5月20日

発行日： 2011年8月31日

改訂日： 2012年3月28日

**マロール株式会社**

653-0037 兵庫県 神戸市長田区大橋町 2丁目1番34号

# 目次

<b>1. 組織概要</b>	<b>2</b>
• 事業所名、及び代表者名	2
• 所在地	2
• 環境管理責任者及び担当者連絡先	2
• 事業の内容	2
• 事業の規模	2
<b>2. 対象範囲《認証・登録範囲》</b>	<b>3</b>
• 認証・登録番号 0000716	3
• 登録事業者名	3
• 認証・登録の対象活動	3
• 対象組織	3
• 対象従業員	3
• 対象サイトの概略	3
• 環境レポート	3
<b>3. 環境方針</b>	<b>4</b>
<b>4. 環境目標</b>	<b>5</b>
<b>5. 環境活動計画</b>	<b>5</b>
<b>6. 環境目標の実績</b>	<b>6</b>
• 目標項目の実績	6
<b>7. 主な環境負荷の実績</b>	<b>6</b>
<b>8. 環境活動計画の取組結果・評価、次年度の取組内容</b>	<b>7</b>
<b>9. 環境関連法規制等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無</b>	<b>8</b>
• 適用される主な環境関連法規制等	8
• 法令違反、訴訟等の有無	8
<b>10. 代表者による全体評価と見直しの結果</b>	<b>9</b>

# 1. 組織概要

## I. 事業所名、及び代表者名

マロール株式会社 代表取締役社長 兎田 朗彦

## II. 所在地

本社・工場	〒653-0037	神戸市長田区大橋町2丁目1-34	従業員数 67名
東京営業所	〒101-0023	東京都千代田区神田松永町7番地3 ヤマリビル402	従業員数 3名
福岡営業所	〒815-0073	福岡市南区大池1丁目23-15 高崎ビル7号	従業員数 6名
札幌 事務所	〒003-0834	札幌市白石区北郷四条2丁目9-15 第8北海マンション502	従業員数 1名

\*各営業所・事務所の事業活動は営業業務。2011年度の認証・登録を予定

## III. 環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者	代表取締役社長	兎田 朗彦
連絡担当者	業務部総務課	大西 正
連絡先	電話：078-611-2158	Fax：078-641-5856

## IV. 事業の内容

産業分類：一般機械器具製造業

船舶関係の油圧及び電気・電子油圧式制御システム・機器の設計、製造、販売、サービス

下記自社開発製品を製造・販売。

大型船舶向け

甲板機械（デッキクレーン、カーゴクレーン、ウインドラス、ムアリングウィンチ、トローイングウィンチ等）の油圧及び電気・油圧式遠隔制御装置、バルブ開閉制御装置、他。

小型船舶向け

手動油圧操舵システム、アシスト式操舵システム、電気・油圧式動力操舵システム、オートパイロットシステム、エンジンリモコンシステム、姿勢制御システム、サイドスラスター制御システム、ウォータージェットコントロールシステム、エンジン制御盤、方位ディスプレイ、他。

その他開発依頼製品の設計・製作

## V. 事業の規模

売上高：1,241百万円 (2011年5月期)

主要製品出荷量：168.5トン

従業員数：77名（パート、アルバイト、契約社員を含む）

本社延べ床面積：7,309 m<sup>2</sup>

## 2.対象範囲 《認証・登録範囲》

### I. 認証・登録番号 0000716

### II. 登録事業者名

マロール株式会社 本社・工場・倉庫  
〒653-0037 神戸市長田区大橋町2丁目1-34

### III. 認証・登録の対象活動

船舶関係の油圧及び電気・電子油圧式制御システム・機器の設計、製造、販売、サービス

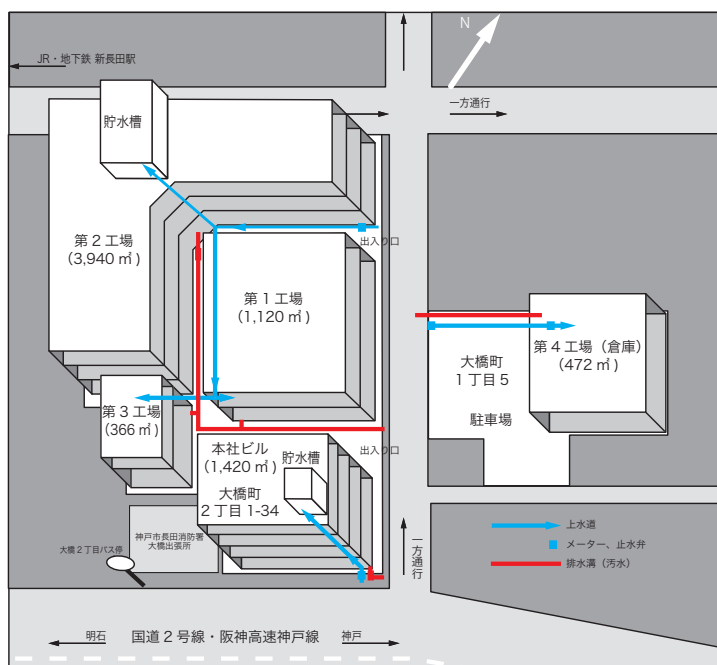
### IV. 対象組織

本社、工場、倉庫

### V. 対象従業員

組織内で働くパート・アルバイトを含む全ての従業員。  
但し、他の組織に所属する人には適用しない。

### VI. 対象サイトの概略



### VII. 環境レポート

対象期間：2010年5月21日～2011年5月20日

発行日：2011年8月31日

## 3.環境方針

### 環境理念

当社は、環境活動を経営の最重要課題の一つと位置付け、環境への取組と環境負荷の削減に努め、持続的発展が可能な社会の構築に貢献します。

### 活動指針

当社は油圧・電子制御機器の設計・製造・販売の事業活動を通じて次の項目に取り組めます。

- I. 環境関連法規制、及びその他の要求事項を遵守します。
- II. エコアクション21環境経営システムを構築・運用し、継続的改善と汚染の予防に努めます。
- III. 事業活動全般における環境負荷を削減するために次の活動に取り組めます。
  1. 省エネ
  2. 廃棄物の分別の徹底と削減
  3. 紙資源の節約
  4. 水資源の節約
  5. 化学物質の管理の徹底と使用量削減
  6. グリーン購入の推進
  7. 環境配慮型製品の販売促進

この環境方針は全従業員に周知するとともに社会にも公開します。

2005年8月5日 制定  
2012年3月28日 改定  
マロール株式会社  
代表取締役社長 兎田 朗彦

## 4.環境目標

	目標項目	単位	基準年度 (2009年度)	2010年度 レポート対象期間	2011年度	2012年度	2013年度
1	電力使用量の削減	kWh	641,000	640,000	551,610	550,000	550,000
		kg-CO <sub>2</sub>	227,555	188,160	162,173	161,700	161,700
2	一般廃棄物の削減	kg	6,800	6,800	4,000	4,000	4,000
3	コピー用紙使用量の削減	kg	1,600	1,500	1,200	1,200	1,200
4	上水使用量の削減	m <sup>3</sup>	2,150	2,100	1,700	1,700	1,700
5	自動車燃料使用量の削減	km/l	12.93	13.50	13.10	13.10	13.10
		kg-CO <sub>2</sub>	38,166	33,800	33,800	33,800	33,800
6	産廃排出量の削減	kg	43,500	43,500	41,500	41,500	41,500
7	都市ガス使用量の削減	m <sup>3</sup>	56,500	56,000	48,000	48,000	48,000
		kg-CO <sub>2</sub>	119,138	118,000	117,000	117,000	117,000
8	化学物質の管理	%	100	100	100	100	100
9	RoHS規制対応資材の購入	%	-	100	100	100	100
10	環境配慮製品の拡販	%	-	25	25	25	25

購入電力の排出係数=0.294kg-CO<sub>2</sub>/kWh (関西電力 平成21年度)

## 5.環境活動計画

	計画項目	計画内容
1	電力使用量の削減	・節電活動の徹底（空調温度の調整、不要な照明の消灯など）
2	一般廃棄物の削減	・分別の徹底、リサイクルの促進など
3	コピー用紙使用量の削減	・両面コピーの徹底、廃紙の再利用、PDFの利用促進など
4	上水使用量の削減	・節水活動の継続推進、空調機器の定期点検など
5	自動車燃料使用量の削減	・運転記録の記入、燃費計算の実施、エコ運転の推進など
6	産廃排出量の削減	・廃棄物の分別の徹底、リサイクルの推進など
7	都市ガス使用量の削減	・春/秋の空調機器使用削減、空調温度の調整など
8	化学物質の管理	・MSDSの完備、保管・使用時の管理徹底など
9	RoHS規制対応資材の購入	・顧客要求に沿ったRoHS規制対応資材の購入の実施
10	環境配慮製品の拡販	・環境負荷低減型製品(オートパイロット)の販売比率アップ

## 6.環境目標の実績

### 1. 目標項目の実績

	目標項目	単位	2008年度	2009年度	2010年度	達成率
1	電力使用量の削減	kWh	654,201	567,038	580,643	102.4%
2	一般廃棄物の削減	kg	6,820	5,500	3,850	70.0%
3	コピー用紙使用量の削減	kg	1,751	1,334	1,254	94.0%
4	上水使用量の削減	m <sup>3</sup>	2,318	1,856	1,743	93.9%
5	自動車燃料使用量の削減	km/l	12.83	13.08	13.07	99.9%
6	産廃排出量の削減	kg	43,684	44,197	39,534	89.4%
7	都市ガス使用量の削減	m <sup>3</sup>	57,954	47,288	48,285	102.1%
8	化学物質の管理	%	100	100	100	100.0%
9	RoHS規制対応資材の購入	%	-	-	100	-
10	環境配慮製品の拡販	%	-	-	20	-

目標 9、10は2010年度より実施

## 7.主な環境負荷の実績

種類	単位	2008年度	2009年度	2010年度
二酸化炭素排出量(電力、燃料)	kg-CO <sub>2</sub>	409,300	337,941	306,477
廃棄物排出量	Kg	50,504	49,697	43,384
総排水量	m <sup>3</sup>	2,318	1,856	1,743
化学物質の管理	%	100	100	100

購入電力の排出係数=0.294kg-CO<sub>2</sub>/kWh (関西電力 平成21年度)

## 8.環境活動計画の取組結果・評価、次年度の取組内容

	計画項目	達成率 評価ランク	評価	次年度取組み
1	電力使用量の削減	109% A	目標は達成したが、気候変動による影響は大。活動の効果はほぼ限界。	空調使用のまめな削減など、より細かい取組みを行う。
2	一般廃棄物の削減	143% A	廃棄処理タイミングの影響で実績は良かったが、実質的にはほぼ例年通り。削減効果はほぼ限界。	継続的な取組みの実施。
3	コピー用紙使用量の削減	116% A	受注件数の減少もあり、目標達成した。取組みは十分浸透したと思われる。	継続的な取組みの実施。
4	上水使用量の削減	117% A	取組みは充分成果を上げている。変動要素は気候による空調稼働率	空調使用の細かい削減に取り組む。
5	自動車燃料使用量の削減	97% B	実績は非常に高く、これ以上の削減はエコカーの導入以外不可能。	継続的な取組みの実施。
6	産廃排出量の削減	109% A	すでにミニマムで推移しており、変化はあまり無い。取組みは浸透している。	継続的な取組みの実施。
7	都市ガス使用量の削減	114% A	殆どが空調。増加したのは夏季の気温が非常に高かったため。取組みは効果を上げている。	空調使用の細かい削減に取り組む。
8	化学物質の管理	100% A	取組みは効果を上げている。	継続的な取組みの実施。
9	RoHS規制対応資材の購入	100% A	取組みは効果を上げている。	継続的な取組みの実施。
10	環境配慮製品の拡販	80% C	初めての取組みだったため、今年度はデータ取り。	新機種導入で効果を上げる。

2010年度は製品出荷量が減少したことにより、各計画項目共に減少傾向となった。

各項目とも取組みは充分浸透したが、より細かな対応余地はまだある。



# 9.環境関連法規制等の遵守状況の確認及び評価 の結果並びに違反、訴訟等の有無

## I. 適用される主な環境関連法規制等

適用される主な法規	主な適用事項	遵守評価
振動規制法	・ 特定施設の設置、変更の事前届け出	遵守
	・ 規制基準以下の遵守	遵守
騒音規制法	・ 特定施設の設置、変更の事前届け出	遵守
	・ 規制基準以下の遵守	遵守
兵庫県条例大気汚染防止に関する条例	・ 特定施設設置、変更、廃止等事前届け出	遵守
水質汚濁防止法	・ 特定施設設置、変更、廃止等事前届け出	遵守
廃棄物処理法	・ 一般廃棄物、産業廃棄物の運搬または処分を許可業者に委託する。	遵守
	・ マニフェスト写しを5年間保存する。	遵守
	・ 産業廃棄物管理票交付状況報告を提出	遵守
PRTR法	・ 特定化学物質の排出量移動量の把握と記録、基準値以上の取扱量の場合行政に報告	遵守
有機溶剤中毒予防規則	・ 作業主任者の選任	遵守
	・ 局所排気装置の自主点検	遵守
	・ 保護具の着用、半年に1度の健康診断	遵守
PCB廃棄物特別措置法	・ 保管状況を届け出	遵守
消防法	・ 屋内貯蔵所の届け出	遵守
	・ 少量危険物貯蔵所の届け出	遵守
	・ 消防設備等点検結果報告（3年に1度）	遵守
エネルギー使用の合理化に関する法律	・ 熱、電気を合算した使用量が一定以上になれば届け出 指定工場・事業所となる。	遵守
フロン回収破壊法	・ 使用済み業務用エアコンの適正処理	遵守
自動車リサイクル法	・ 使用済み自動車の適正処理	遵守

## II. 法令違反、訴訟等の有無

- ・当社に於いて定期的実施する上記遵守評価の結果、環境関連法規等への違反はありませんでした。
- ・尚、関係当局からの違反の指摘は過去3年間ありません。

## 10.代表者による全体評価と見直しの結果

	項目	見直し有無	評価コメント
1	環境方針の見直し	なし	変更なし。継続。
2	環境目標	なし	2011年度は電力消費の5%削減に注力。
3	環境活動計画	なし	待機電力の見直しが必要
4	環境経営システム	なし	営業所におけるデータ収集
5	その他		特になし

2005年のEA21活動開始から6年が過ぎ、活動内容は十分浸透したと思われる、目標項目すべてにおいて削減が進んだ。

今後は電力消費量削減への取り組みに力を入れると共に5S活動の展開を強化する。





## マロール株式会社

〒653-0037  
神戸市長田区大橋町2丁目1番34号  
tel : 078-611-2158  
fax : 078-641-5856  
<http://www.marol.co.jp>